

< 修士論文の審査基準等 >

修士論文は、博士前期課程修了時に学位授与申請のために提出する論文です。申請にあたっては、次の基本要件を満たしていなければなりません。

- ① 修士論文は、当該専門分野における一定の研究成果を示すものでなければならない。
- ② (評価基準) 修士論文は以下の各項目について、当該専門分野における十分な水準を満たさなければならない。
 - (a) 研究課題(テーマ)の学術的意義…明確な問題意識に基づき、当該専門分野における研究の学術的意義が述べられていること。
 - (b) 研究課題の的確性…研究目的に応じた的確な課題が設定されていること。
 - (c) 研究方法の妥当性…研究を遂行する上で、適切な研究手法が用いられていること。
 - (d) 先行研究との関連…当該専門分野における主たる先行研究を踏まえたものであること。
 - (e) 資料利用の適切性…論旨を展開するうえで、実験結果、調査結果、文献資料などが適切に用いられていること。
 - (f) 論旨の一貫性…論旨が論理的に組み立てられ、一貫して展開されていること。
 - (g) 学術論文としての体裁…表現、表記法などが学術論文として適切であるとともに、当該専門分野の慣例に従ったものであること。
 - (h) 研究倫理の遵守…研究の目的、遂行過程、成果発表のそれぞれについて、当該専門分野が定める研究上守るべき倫理基準が満たされていること。
- ③ (論文の分量) 修士論文は、論を展開する上で、各専門分野の特性に応じた十分な分量でなければならない。

■ 提出期日および締切時間

修士論文は在学中に、その課程を修了しようとする年度の指定日(1月)の正午(午後0時)までに文学研究科教務担当に提出しなければなりません。ただし、提出期限については、当該年度ごとに指定します。提出期日および時間に遅れた場合、原則として受理しません。

提出の際、仮製本した論文1部のほか、学位申請書1部を、文学研究科教務担当に提出しなければなりません。